

学級活動指導案
議題名「クラスキャラクターを生かそう」〔学指要領：(1)イ〕
令和6年10月 第4学年 指導者 小林 千佳

I 議題の構想

1 議題観

本議題は、小学校学習指導要領（平成29年告示）解説特別活動編の学級活動「（1）学級や学校における生活づくりの参画」を扱う。学級をよりよくするためにクラスキャラクターをみんなで作り上げることを目標に「学級のよいところ」「学級の特徴」「学級の目指す目標」などの視点を基に互いのイメージを共有し、話合いを通して創意工夫し、自主的、実践的に取り組むことができるようにしていく。ただ、クラスのイメージを形にするだけではなく、キャラクターを通して、学級の絆を深めたり、学級の所属感を意識できたりするような活用方法も考えていく。また、目的に応じた話合い活動を設定することで学級の友達から自分の意見に対する評価を受け、その評価の中で自分のよさや可能性に気付き、友達や教師の賞賛の言葉や行動から喜びを感じてやる気が生まれ、次の活動に生かそうとする気持ちや態度を育てたい。

2 研究との関わり

「学びの中で安心感が生まれる支持的風土の醸成」をテーマとして、児童が集団生活の中でよりよい人間関係を築き、学級で安心して過ごすことができるようにするために、学級の諸問題について積極的に見いだし、話合いを繰り返す過程で、よりよい方法や実践的な態度を身に付けられるようにする。

児童からの提案について話し合う場を設定することで、児童が自らの考えをもって伝え、多様な意見を認め合い、互いのよさや可能性を見いだし伸ばし合うなど、よりよく成長し合えるような集団活動として展開できるようとする。また、話合い活動では自信をもって取り組むことができるよう、学習形態の工夫やICTを使った共有を通して自由な意見交換を行ったり、役割分担により、一人一人が役割を果たし協力し合えるようにしたりする。また、活動を展開する中で、所属感や連帯感を高め、互いの心理的な結び付きを強くすることで、徐々に支持的風土の醸成を図ることができるようしていく。

3 育成を目指す資質・能力及び児童（生徒）の実態

	資質・能力	児童（生徒）の実態
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none">意見を聞き、自分の活動に取り入れることは、自己の能力をよりよく生かし、自己実現を図ることができるなどを理解する。話合いの手順を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none">自分のやり方や判断に自信があり、友達の意見を聞くことに抵抗を感じる児童がいる。話合いの手順や方法が十分に身に付いていない。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none">話合いの中から工夫策を見いだし実践しようとすることができる。	<ul style="list-style-type: none">友達と協力するよりも、自分の力のみで実行したいという気持ちの強い児童がいる。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none">学級の課題に関心をもち、自己の役割を自覚しながら、友達の意見を聞き入れ、よりよいものになるよう進んで取り組もうとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none">話合いは進んで取り組むことができるが、その後の生活で話し合った事柄を生かすことができる児童は少ない。

4 評価規準

知識・技能	<ul style="list-style-type: none">よりよい生活を築くための話合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none">伝え合い、聞き合う中から自分にできることを見いだし実践することができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none">学級の課題に関心をもち、自己の役割を自覚しながら、友達の意見を聞き入れ、活動がよりよいものになるよう進んで取り組もうとしている。

5 指導及び評価、ICT活用の計画（事前の活動→本時の活動→事後の活動）

過程	日時	■ねらい □学習活動 ★ICT活用に関する事項	知	思	態	◆評価項目<方法（観点）> ○指導に生かす評価 ●評定に用いる評価
事前の活動	9月20日	■「ぐんまちゃん」や「キノピー」など身近なキャラクターについて考え、特徴や活躍の場について話し合い、クラスキャラクターを作る意義や目的を知ることができるようにする。 □キャラクター作成の様々な意図や意味を調べ、クラスのキャラクターを作る意欲を高める。 ★オクリンクプラスで意見交流	○			◆身近なキャラクターに興味をもち、その特徴を捉えたり、作る意義を考えたりして、クラスでキャラクターを作る目的を知る。 <観察・オクリンクプラス（知①）> [議題・題材の学習課題等] クラスキャラクターをつくろう
	9月27日	■学級の良いところやイメージを話合い、自分たちのクラスらしいキャラクターを作成できるようにする。 □一人ひとりが、思いや願いを活かした原案作りができるように、アイデアを出し合った後、個人・ペア・3人組でキャラクターを作成する。	●			◆話合いの中で、クラスのよいところについて話し合ったり、アイデアを出し合ったりしている。 <観察・ワークシート（知①）>
	10月4日	■自分が考えたキャラクターへの思いを相手に伝えたり、相手が考えた思いを共感したりしながら意見交換を行い、キャラクターを決定できるようにする。 □伝え合い聞き合う中で、自分の考えに自信や楽しみを見いだしながら、クラスキャラクターを決定する。	○			◆目的に合った内容や工夫について考え、クラスキャラクターを決定している。 <観察・オクリンクプラス★（思①）> [議題・題材の学習課題等] クラスキャラクターを決めよう
本時の活動	10月24日	■決定したクラスキャラクターのプロフィールを考えられるようにする。 □話合いの中で、★オクリンクプラスで意見を共有し、「共感カード」や「共感してねカード」を活用して自由に発言する。	●	○		◆話合いの目的やテーマを理解して自分の意見を伝えている。 <観察・オクリンクプラス★（思①）> ◆友達の意見も取り入れながら、合意形成することができる。 <観察・オクリンクプラス★（態①）> [本時のめあて・課題等] キャラ☆クリエイト大作戦
事後の活動	11月1日	■それぞれのクラスキャラクターに愛着をもちながら、キャラクターの生かし方を考え自分で考え、実践できるようにする。 □それぞれのキャラクターを生かし、実際にキャラクターを活用する。 □ふりかえりアンケートを行う。	○	●		◆話合い活動を生かして、自分の役割をもち、友達と協力して活用するための準備をしている。 <観察・（態①）> ◆キャラクター作成から活用までの自分自身の活動や学びについて振り返りを行う。 <ワークシート（思②）> [本時のめあて・課題等] キャラクターを生かそう

Ⅱ 第4時の学習

1 ねらい オクリンクプラスや共感カードを活用することで、自分の考えに自信をもち、安心して話合いができるようにする。

2 展開

主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応【S】 ★ICT活用に関する事項	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目(観点)
1 本時の活動について計画委員が授業の流れを説明する。 (導入5分)	◎興味・関心のある課題設定を児童自身が説明することで、学ぶ楽しさを感じ、自分の考えを主体的に表現しようとする意欲をもたせることができるようとする。 ○計画委員が進行し、教師が補足をしていく。 ○見通しをもって安心して授業に臨むことができるよう計画委員が授業の流れを作成し、掲示しておく。 ○前時までの活動を振り返り、クラスキャラクターの必要性を再確認させる。
2 クラスキャラクターのプロフィールを作成し、オクリンクプラス(★)を使って整理する。 (展開①5分) S: 性格・特ちょうはとっても元気で明るい。 S: 得意なこと・苦手なことはこのクラスは○○な子が多いから○○にしよう。 S: 好きな食べ物・嫌いな食べ物は給食の○○がみんな好きだから。 S: 好きな遊び・しゅみは休み時間○○している人が多いから。 S: 夢・目標はみんなが仲良くできるようにいつもクラスを明るくすること。	○プロフィール作成を通して、クラスキャラクターが自分のクラスの象徴だと思えるように、クラスのことを考えたプロフィール作りをすることができるようとする。 ◎個で考える時間の確保により、しっかりと自分の考えをもつことができるようする。 (自己決定) ○考えが浮かばず悩んでいる児童の対しては、オクリンクプラスを通して友達の意見を参考するように促す。 ○同じ考え方や参考になった考えには、共感スタンプを送る。
3 自分が考えた意見を持ち寄り、話合い活動をする。その際、オクリンク(★)を使って話し合う。 (展開②10分) S: 性格・特ちょうはとっても元気で明るい。 だけど、ちょっとケンカをするときもあるから、自分の考えを曲げないとか意志が強いとかも入れた方がいいかもしないね。 S: そうだね。できていないところもプラス面に変えてみるのもいいね。 S: 得意なこと・苦手なことはこのクラスは○○な子が多いから○○にしよう。 それいいね。自分では考えられなかったよ。	◎話合いのルールが守られることで、平等に参加でき、安心して発言しやすい環境をつくることができるようする。 ○付箋に書いた理由も伝え合うようする。 ○オクリンクプラスを使いながら、考えを可視化したり、整理したりできるようする。 ○キャラクターがクラスのイメージにふさわしくなるように考えながら話合いを進めることができるようする。 ◎形態の工夫をすることで、異なる視点やアイディアを取り入れることができ、より広い視野で課題に取り組むことができるようする。 (共感的な人間関係) (自己存在感の感受) ○自分が一番考えたい特徴でグループを編成する。

◆評価項目◆

◆話合いの目的やテーマを理解して自分の意見を伝えている。

<観察・オクリンクプラス★(思①)>

4 グループごとに発表し、全体で共有する。 (展開③10分)

S : 性格・特ちょうはとっても元気で明るい意志が強い。
このクラスは元気だし、いつも笑っている人が多い。でも意見を曲げない人もいるから、そこは意思が強いとしました。

S : 得意なことは、体を動かすことと、歌を歌うことです。
このクラスも休み時間外で遊ぶ人が多いし、歌が上手な人が多いから。

◎共感カード・スタンプ・コメント機能の活用を通して、友達の思いや考えに理解や支持を表現できるようにする。また、友達が共感してくれたことで、安心感を得られるようコミュニケーションツールとして適切に活用できるようにする。

◎発表を通して新たな視点や考え方につれ、考え方の視野を広げられるようにする。

○発表者が、なぜそう考えたのか相手に伝わるように理由も発表できるようにする。

(共感的な人間関係)

◆評価項目◆

◆友達の意見も取り入れながら、合意形成することができている。

<観察・オクリングプラス★ (態①) >

5 プロフィールをまとめ、模造紙に書き、ポスターを完成させる。 (展開④10分)

○書記がクラスキャラクターの最終的なプロフィールを紙に書き込み、模造紙に貼る場を設けるようにする。

○完成したら、クラスキャラクター誕生のお祝いをすることで、成就感を高められるようにする。

(共感的な人間関係)
(自己存在感の感受)

6 振り返り (終末5分)

S : 自分が考えなかった意見があつて面白いな、やってみたいなと思いました。

S : 自分の考えた活かし方を友達がやってみたいと言ってくれて嬉しかったです。

○話合い活動で、どんなことを学んだか。これからこのキャラクターをどのように生かしていきたいかなど、自分なりの振り返りができるようにする。

○計画委員へのねぎらいの言葉や「よりよいクラス作りのために活動する」という実践意欲が高まるような言葉がけをする。

3 板書計画



話合いマニュアル



共感カード



共感スタンプ



ふりかえり 心理グラフ

